

6 市場事業

(1) 事業数

令和元年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は49万3,912tで、前年度に比べ2万4,286t(4.7%)減少している。その内訳は、青果物が16万2,412t、水産物が30万9,462t、食肉・鶏卵・その他が2万2,038tとなっている。前年度に比べ青果物が2,660t(1.6%)、水産物が2万877t(6.3%)、食肉・鶏卵・その他が749t(3.3%)それぞれ減少している。

年間売上高は1,930億19百万円で、前年度に比べ137億8百万円(6.6%)減少している。その内訳は、青果物が412億50百万円、水産物が1,235億7百万円、食肉・鶏卵・その他が282億62百万円で、前年度に比べ青果物が6億86百万円(1.6%)、水産物が112億25百万円(8.3%)、食肉・鶏卵・その他が17億97百万円(6.0%)それぞれ減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者14社、仲卸業者145社、売買参加人が1,380人、関連事業者が42人となっている。

第1表 利用状況の推移

年 度		H27		H28		H29		H30		R1		対前年度比較	
		H27	構成比 (%)	H28	構成比 (%)	H29	構成比 (%)	H30	構成比 (%)	R1	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目								a		b		c	×100(%)
取 扱 高 (t)	青 果 物	191,610	34.2	182,355	34.5	172,120	32.6	165,072	31.9	162,412	32.9	▲2,660	▲1.6
	水 産 物	346,984	61.9	324,031	61.3	333,810	63.1	330,339	63.7	309,462	62.7	▲20,877	▲6.3
	食肉・鶏卵・その他	21,710	3.9	22,297	4.2	22,686	4.3	22,787	4.4	22,038	4.5	▲749	▲3.3
	計	560,304	100.0	528,683	100.0	528,616	100.0	518,198	100.0	493,912	100.0	▲24,286	▲4.7
売 上 高 (百万円)	青 果 物	48,618	22.1	48,318	22.2	44,810	20.6	41,936	20.3	41,250	21.4	▲686	▲1.6
	水 産 物	139,893	63.5	137,316	63.2	141,508	65.0	134,732	65.2	123,507	64.0	▲11,225	▲8.3
	食肉・鶏卵・その他	31,945	14.5	31,605	14.5	31,435	14.4	30,059	14.5	28,262	14.6	▲1,797	▲6.0
	計	220,456	100.0	217,239	100.0	217,753	100.0	206,727	100.0	193,019	100.0	▲13,708	▲6.6
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	15	—	15	—	15	—	14	—	14	—	0	0.0
	仲 卸 業 者 (社)	45	—	150	—	149	—	149	—	145	—	▲4	▲2.7
	売 買 参 加 人 (人)	1,532	—	1,537	—	1,502	—	1,439	—	1,380	—	▲59	▲4.1
	関 連 事 業 者 (人)	41	—	40	—	41	—	42	—	42	—	0	0.0

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は29億15百万円で、前年度に比べ23百万円(0.8%)増加しており、総費用は24億11百万円で、前年度に比べ24百万円(1.0%)増加している。この結果、収支差引では5億4百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が1百万円(0.3%)減少している。

また、資本的収支における収入は9億97百万円で、前年度に比べ3億39百万円(25.4%)減少しており、支出は15億円で、前年度に比べ3億40百万円(18.5%)減少している。この結果、収支差引では5億3百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が1百万円(0.2%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は1百万円の黒字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は1百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が3百万円(73.4%)減少している。

なお、収益的収支比率は86.1%で、前年度に比べ0.8ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
								a	b
収 益 的 収 支	総 収 益 A	2,950	2,811	2,954	2,892	2,915	23	0.8	
	営 業 収 益	1,743	1,827	1,870	1,849	1,752	▲97	▲5.3	
	う 料 金 収 入	1,732	1,815	1,848	1,830	1,733	▲97	▲5.3	
	受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—	
	ち そ の 他	11	12	22	19	19	▲0	▲2.1	
	営 業 外 収 益	1,206	984	1,084	1,043	1,162	120	11.5	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	636	459	647	537	723	187	34.7	
	総 費 用 B	2,323	2,274	2,409	2,387	2,411	24	1.0	
	営 業 費 用	2,031	2,045	2,148	2,217	2,264	47	2.1	
	う ち 職 員 給 与 費	357	362	376	371	389	18	4.9	
支 出	営 業 外 費 用	292	229	261	170	147	▲23	▲13.3	
う ち 支 払 利 息	228	203	180	159	140	▲19	▲12.1		
収 支 差 引 (A-B) C	627	537	545	505	504	▲1	▲0.3		
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入 D	2,005	984	1,953	1,336	997	▲339	▲25.4	
	地 方 債	752	492	1,251	709	478	▲231	▲32.6	
	他 会 計 繰 入 金	465	489	511	507	475	▲32	▲6.4	
	工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	—	
	国 ・ 県 補 助 金	787	0	190	117	42	▲75	▲64.4	
	そ の 他	0	2	0	2	2	▲0	▲9.2	
	資 本 的 支 出 E	4,456	1,552	2,495	1,840	1,500	▲340	▲18.5	
	建 設 改 良 費	3,484	538	1,452	831	522	▲309	▲37.2	
	地 方 債 償 還 金 e	957	1,001	1,030	1,004	976	▲28	▲2.8	
	そ の 他	14	13	13	5	2	▲3	▲53.8	
収 支 差 引 (D-E) F	▲2,451	▲568	▲542	▲504	▲503	1	▲0.2		
収 支 再 差 引 (C+F) G	▲1,825	▲31	3	1	1	▲0	▲11.1		
積 立 金 H	0	0	2	7	4	▲2	▲33.3		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	1,865	41	10	10	5	▲5	▲53.4		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	41	10	10	5	1	▲3	▲70.8		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	34	0	0	0	0	0	—		
実 質 収 支 (K-L)	7	9	10	5	1	▲3	▲73.4		
う ち	黒 字	7	9	10	5	1	▲3	▲73.4	
	赤 字	0	0	0	0	0	0	—	
職 員 数	47	47	50	45	49	4	8.9		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	89.9	85.8	85.9	85.3	86.1	0.8	—		